

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VI-8	区役所庁舎内飾花事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区文化協会	対象者	来庁者	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	中原区役所庁舎内に年間を通じて季節の生け花を展示し、来庁者が親しみやすさを感じられるような区役所の雰囲気作りを行う。				
予算額	300,000(円)	決算額	300,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由					
結果・成果	 <p>(区役所1階区民課6番窓口前)</p>		中原区文化協会の華道5流派が各々の作品を交代で、月曜日から金曜日まで、区役所1階に展示する。 毎回質の高い展示がされ、季節によって生ける花の種類や彩りが変わること、区役所を訪れる方々に季節感を与えている。		
	実施時期 (開催日/回数等)	通年(毎週交代)	参加人数等	—	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
多くの方々が訪れる区役所1階の展示場所に、季節感のある新しい花を毎週生けることは、来庁者に安らぎを与え、区役所の親しみやすい雰囲気作りをすることができる点で有意義である。 生け花に精通した中原区文化協会が事業趣旨に賛同し、華道5流派により毎回質の高い作品を安定的、継続的に展示している。 また、来庁者の中には、花を背景に写真を撮る人も見られるなど、本事業は成果を上げていると考える。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	上記のような成果が見られることから、今後も継続する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

区民の心を和ましてくれる取り組みである。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VI-9	なかはら八百八橋プロジェクト	新規	平成22年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら八百八橋プロジェクト 中原区役所地域振興課	対象者	区 民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局	事業内容		
目的及び内容	区内の重要な歴史資源である八百八橋を区役所敷地内に移設し、中原街道や二ヶ領用水などと絡め、新田住民に中原の歴史を伝え郷土意識の醸成を図るとともに、区役所敷地内にある移設した八百八橋周辺をミニパーク化し、区役所の存在をより身近に感じてもらうことを目的とする。 平成22年度の単年度予算であるが、八百八橋の移設を含めた周辺整備工事だけでなく、長期展望を視野に入れた今後の管理運営についても検討していく。				
予算額	1,470,000 (円)	決算額	1,470,000 (円)	不用額※	0 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  八百八橋移設後の区役所中庭風景	定期的にプロジェクト会議を開催し、メンバーの中で多角的視点から協議し充実した提案書を作成することができた。その提案書に基づき、八百八橋の移設、周辺工事を行うことができ、また、年度末には、メンバーと行政職員参加で敷石敷設・植込作業なども実施することもできた。 その他、会議の中で意見が出た樹木足元のウッドチップ養生作業や隣接部にあるオリーブの木の有効活用などを含め、周辺工事完成で終了させない新たな展望についても検討したことの意義は大きい。			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等		

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 年度途中からの事業であり時間的な制約がある中で、充実した提案書を工事工程に間に合う時期に提示し、八百八橋の移設、周辺工事を終了させることができた。年度末には、極力費用をかけずに、メンバーと行政職員参加で敷石敷設・植込作業なども実施することもできた点は協働推進事業として評価できる。工事後は、移設された石ベンチに座り中庭を見ながら休んでいる方や食事をしている方も多く、憩いの場としても利用される場所になりつつあると実感している。 また、単年度で終了させない継続的な取り組み内容についても検討し、八百八橋周辺の管理運営やイベント実施の可能性を協議した点も評価できる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	新たな課題や抽出された問題などを含め長期的展望を視野に入れて、まちづくり推進委員会の新たなプロジェクトとして取り組んでいく。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


歴史を伝えていく取り組みは評価できる。広報をしっかりと行う必要がある。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VI-10	歴史と緑の散策コース案内板設置事業	継続	平成20年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	平成18年度の協働推進事業でなかはら20年構想委員会が作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」の完成に合わせ、区の魅力である名所や史跡を効果的に区民や駅の利用者に伝えていくために、区内の駅に散策マップに記載した散策コースを中心とした案内版を設置する。				
予算額	1,196,000 (円)	決算額	990,150 (円)	不用額※	205,850 (円)
※不用の理由	単独の自立式案内版ではなく、壁に貼り付ける案内版に変更し安価となったため。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		平成20年度、平成21年度に設置した区内6箇所の駅に続き、平成22年度は横須賀線武蔵小杉駅に設置した。また、平成19年度設置した平間駅案内板、平成20年度に設置した向河原駅案内版の掲載情報の更新作業を併せて行った。 設置にあたっては、散策マップの作成に寄与したなかはら20年構想委員会と調整、確認を行い、また、JR東日本との交渉も並行して行った。その結果、横須賀線武蔵小杉駅改札口近くの人の目につきやすい場所に案内版を設置することができた。		
	横須賀線武蔵小杉駅設置の案内版		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区民に人気のある「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用し、さらに区の魅力を効果的に伝えていく手段として案内版を設置したことは有意義である。 地元の人だけでなく、電車で降りた人など多くの人にもコースを伝え、実際に歩いてもらうことを目指して駅に設置したことは、区の魅力発信に一層貢献したと考えられる。また、再開発で件数が増えている中で、マップと看板の両方で中原区の魅力ある資源を知らしめることは重要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	中原区内の主要な駅への案内板の設置は終了する予定であるが、平成23年度には「歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業」と名称を変更し、案内板を活用したまち歩き等を実施し、中原の魅力を一層発信していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

地域の情報と魅力を積極的に発信してもらいたい

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-1	まちづくり推進実践活動支援事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容			
目的及び内容	区づくり白書「もっとすてきになかはら」の実現のために、地域からの推薦・公募による委員により組織された委員会が、2つの部会（課題発見・解決部会、支援・広報部会）を通して地域の課題に対して取組む実践活動を支援することを目的としている。また、区民交流センター「なかはらっぱ」の管理・運営の協定先として、区内諸団体の中間支援組織としての活動に対して事務的な援助を行うことを目的としている。 活動に際しては、より効果的・実践的な展開を狙い、広報物のデザインや運営に関する助言を専門家に依頼する。				
予算額	1,720,000(円)	決算額	1,640,658(円)	不用額※	79,342(円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (マナー・モラルアップポスター展)		課題発見・解決部会にてまちなかのマナーモラルの向上をめざして活動する「マナー・モラルアップ」、武蔵中原駅近くの地下道を安全で利用しやすい空間にする取り組み「中原地下道ギャラリー」、昔遊びを通じた世代間交流を図る「公園井戸端会議」、区役所内に八百八橋を設置する「プロジェクト808(新規)」を実施、支援・広報部会では、月1回団体間の交流を深める「まちづくりサロン」、「まちづくり通信」の年4回発行、ホームページ「ナプロコ」、区内の写真を使用して中原の魅力を紹介する「まちふおと倶楽部」の各プロジェクトを実施。 実施時期 (開催日/回数等)		
			通年	参加人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 中原地下道ギャラリープロジェクトでは、22年度初めて企業（富士通）の協力を得ることができ、地域への浸透が感じられる。また、区役所敷地内に八百八橋の設置を行う新プロジェクトが立ちあがるなど、新たな課題への取り組みへの意欲もある。さらに、区内の魅力スポットをおさめた写真集の発行、まちづくり通信の発行など、活動の成果物の作成、PRするなど活動の幅も広く、評価が高い。 しかしながら、一方でメンバーの固定化、プロジェクトの停滞なども見られるので、今後の展開に見直しが必要とされる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	継続事業については、ある程度の成果や結果を出してきており、新プロジェクトへの取り組みも予定されている。今後は、既存プロジェクトの精査を行い、既存プロジェクトの発展的解消、収束方法を検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

区民の自主的な取り組みを今後も続けていってほしい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-2	中原区イメージアップ推進事業	新規	平成22年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら20年構想委員会 なかはら散策ガイドの会		対象者	区民		■当初予定事業 □緊急対応事業	
事業形態	□直営 □一部委託 ■全部委託 □その他()		関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	なかはら20年構想委員会が取り組む、川崎市都市計画マスタープランの中原区構想区民提案の中で、区民が自ら実践する活動を通じて中原区のイメージアップにつながる魅力あるまちづくりの推進を支援する。						
予算額	1,586,000 (円)	決算額	1,585,197 (円)	不用額※	803 (円)		
※不用の理由							
結果・成果	 <p>(なかはらまちづくりフォーラム)</p>		<p>「なかはら歴史と緑の散策マップ」を改訂し、15,000部印刷した。再開発地域への各戸配布のほか、区内公共施設でも配布し、まちの魅力や地域への関心を高めることができた。</p> <p>区民、有識者と行政が小杉駅周辺の再開発地域を中心としたまちづくりについて話し合う「なかはらまちづくりフォーラム」を開催し、中原区の将来について区民に議論を深めるとともに、市民ボランティアやNPO等の団体による地域課題の解決への活動を促進した。</p>				
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	フォーラム 参加人数 50名			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
なかはらまちづくりフォーラムの開催は、区民のまちづくりへの参加意識を高め地域課題の解決にむけた取組を促すことができた。また、なかはら歴史と緑の散策マップの改訂版の作成や花回廊構想の推進は、区民が愛着を有する魅力あふれる中原区へのイメージアップに貢献した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用したまち歩きを他の事業と連携して実施し、花回廊構想を推進するとともに、なかはらまちづくりフォーラムを区民の関心の高いテーマで開催して、課題解決への取組みから中原区のイメージアップにつなげる。</p>	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

<p>今後も様々な手法で地域の魅力を発信していただきたい。</p>
